令和6年12月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- インフルエンザは流行警報が発令されました。重症例の報告も増加しています。咳エチケットや手洗い、換気、 適切な湿度を保つように心がけましょう。
- 新型コロナウイルス感染症が増加傾向です。感染・発症予防、重症化予防のために、予防接種も有効です。
- 百日咳の報告が増加しています。マイコプラズマ肺炎、伝染性紅斑の報告も続いています。咳エチケットや手 洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう。
- 感染性胃腸炎の報告も増加傾向です。トイレ後、食事の前の手洗いは入念に行いましょう。
- 梅毒は20歳代~50歳代を中心とした幅広い年齢層で患者が多く発生しており、より一層の注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 <2024年11月23日~12月22日に報告された全数把握疾患>

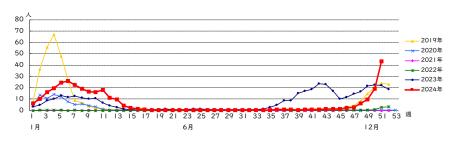
腸管出血性大腸菌感染症	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
A型肝炎	l 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
レジオネラ症	l 件	侵襲性肺炎球菌感染症	12件
アメーバ赤痢	l 件	梅毒	30件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2件	百日咳	24件

- I. 陽管出血性大陽菌感染症: 10 歳代~30 歳代で、○ 血清群は○157 が 2 件、不明が 2 件です。いずれも感染経路等は不明です。
- A型肝炎:30歳代(ワクチン接種歴無)で、海外での経口感染と推定されています。
- 3. レジオネラ症:肺炎型で、60歳代、感染経路は水系感染と推定されています。
- 4. アメーバ赤痢:60歳代で、感染経路は性的接触(同性間)と推定されています。
- 5. カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:80 歳代及び 90 歳代で、以前からの保菌と推定される報告が | 件、 医療器具関連感染と推定される報告が | 件です。
- **6. 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):** 30 歳代及び 60 歳代で、感染経路はいずれも性的接触(同性間 | 件、異性間 | 件)と推定されています。
- 7. 侵襲性インフルエンザ菌感染症:60 歳代及び 80 歳代(ワクチン接種歴無 | 件、不明 | 件)で、その他の感染経路と推定される報告が | 件、感染経路等不明の報告が | 件です。
- 8. 侵襲性肺炎球菌感染症: 10 歳未満~90 歳代 (ワクチン接種歴 4 回 2 件、無 4 件、不明 6 件) で、飛沫・飛沫核 感染と推定される報告が 5 件、飛沫・飛沫核感染または接触感染と推定される報告が 1 件、その他の感染経路と 推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 5 件です。
- 9. 梅毒: 10歳代~60歳代で、早期顕症梅毒 I 期 13件、早期顕症梅毒 II 期 10件、無症状病原体保有者 7件です。性的接触による感染と推定される報告が27件(異性間22件、同性間3件、詳細不明2件)、感染経路等不明が3件です。
- **10. 百日咳:** 10 歳未満~80 歳代(ワクチン接種歴 4 回 6 件、3 回 1 件、無 2 件、不明 15 件)で、家族内感染と推定される報告が 3 件、周囲の流行と推定される報告が 5 件、感染経路等不明の報告が 16 件です。

◇ 定点把握の対象

I インフルエンザ

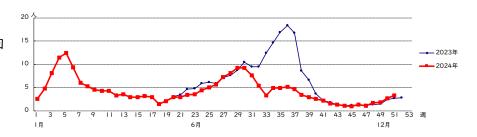
2024 年 10 月下旬(第 43 週)に流行期に入りました。12 月中旬(第 50 週)には流行注意報の発令基準(10.00)を上回り、第 51 週には 43.15 と、流行警報の発令基準(30.00)を上回りました。詳しくは横浜市インフルエンザ流行情報 9 号をご覧ください。



報告週対応表			
2024年第48週	月25日~ 2月 日		
第49週	12月 2日~12月 8日		
第50週	12月 9日~ 2月 5日		
第51週	12月16日~12月22日		

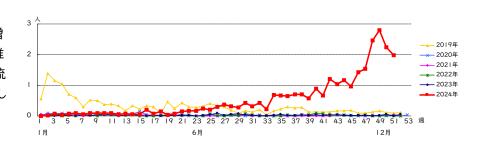
2 新型コロナウイルス感染症

2024年 | 月下旬(第5週)に | 回目(12.45)、7月中旬(第29週)に2回目(9.15)のピークを迎え、減少後は横ばいの状態が続いていましたが、| 月下旬(第48週)以降増加に転じています。第51週は3.33です



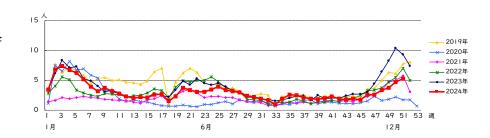
3 伝染性紅斑

2024年5月中旬(第20週)以降増加傾向となり、例年よりも多い状態で推移しました。II月下旬(第48週)に流行警報発令基準値(2.00)を上回りました。I2月上旬にピークを迎え、以降減少傾向です。第51週は1.98です。



4 感染性胃腸炎

2024 年 | | 月中旬 (第 46 週) 以降 増加傾向に転じています。第 5 | 週は 5.2 | です。



5 性感染症(2024年 11月)

性器クラミジア感染症	男性:34件	女性:20件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:8件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:16件	女性: 0件	淋菌感染症	男性: 9件	女性: 2件

6 基幹定点週報

	第48週	第49週	第50週	第51週
細菌性髄膜炎	0.25	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	4.25	3.00	2.50	1.75
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

7 基幹定点月報(2024年11月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	l 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	1

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

URL: https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/